



より安心できる学校生活のためのコロナ対策を

徳田 修和 議員

問 全国大会など、県境を越える大会に出場する子どもたちや顧問等へ、ケアができていくか。

答 日頃から、感染者及び接触者等に関する憶測は慎み、偏見、差別や誹謗中傷がないよう最大限の配慮をし、万が一、感染が判明した場合は、適切な声かけを行い、丁寧に寄り添うようしている。

問 市営住宅の入居待ちの空き室管理を徹底すべきではないか。

答 日頃の巡回で確認した改善点や、入居者等からの修繕依頼について、適切に対応するよう指導する。



その他の質問
・公園管理について



詳しくはこちら



すべての女性が輝く社会を目指して

鈴木てるみ 議員

問 生理の貧困が社会問題になっていく。生活に困窮している女性に、生理用品を支給できないか。

答 先行自治体の状況等を踏まえ検討していく。

問 学校では、どのような「性に関する教育」を行なっているか。

答 発達段階を踏まえ、心身の発育・健康、性感症等の予防などに関する知識を身に付けさせている。

問 ホームスタート事業は、研修を受けた子育て経験者が親の気持ちを受け止め、共に家事や外出をするボランティア活動である。母子の孤立化を防ぎ虐待防止に効果があると言われている。本市でも導入できないか。

問 子宮頸がん予防ワクチンの予防接種を対象者に郵送してはどうか。

答 国が積極的勧奨を控えているので郵送はしない。



詳しくはこちら



タイムリーな事業継続支援金を求める

飯屋 国治 議員

問 まん延防止等重点措置に伴い、飲食店関連事業者のみならず、事業継続が困難になっている事業者が増加している。国の支援金事業を補填する内容で、市独自の支援金事業を実施すべきではないか。

答 国の支援金事業や今後の県の支援策などの動向を注視しながら、事業継続支援金給付事業など事業継続に必要な対策を検討していきたい。

問 本年6月に、医療的ケア児支援法が成立し、国や自治体の責務が明記

医療的ケア児の支援は適切になされているか

され、保育所や学校の支援が求められることになった。本市の医療的ケア児の現状を踏まえ、今後の対応をどのように考えているか。

答 霧島市障害者自立支援協議会の医療的ケア児専門部会で、療育機関に対する医療的ケアについてのアンケートの実施、ガイドブック作成に向けた協議や保育園等への就園支援に取り組んでいる。今後も課題解決に向けた適切な支援の充実を図っていきたい。

その他の質問
・公有財産の有効活用について



詳しくはこちら



高齢者・障がい者の「出し」の支援を

有村 隆志 議員

問 戸別収集はできないか。

答 自力で家庭ごみをゴミステーションに持ち出すことが困難な方は、福祉サービスを利用してのことから、戸別収集の具体的な検討に至っていない。

問 地域と共生社会の推進でサポートはできないか。

答 要介護認定を受けている方は介護保険の訪問介護サービス、要支援認定を受けている方は社協の訪問生活支援サービス、障害認定を受けている方は障害福祉サービスで、日常生活全般の支援を行なっている。公的サービスの対象とならな

い高齢者等のゴミ出しなどの生活支援では、地域における互助の取組が重要であり、受け手と担い手の関係性の構築と仕組づくりが必要となる。現在、本市の社協において生活支援コーディネーターを配置して、地域の支え合い・助け合いの仕組づくりに向けて働きかけを行なっている。

その他の質問

- ・FMきりしまのエリア拡大について
- ・交通安全対策について
- ・農業施設の維持について



詳しくはこちら

陳情審査報告

陳情書3件について、本会議での審議結果を掲載しています。審議された結果は、提出者へ通知します。

陳情	内容	審査結果
第1号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について 1 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。 2 複式学級の基準を見直し、単式学級の児童生徒と同様に学習できるようにすること。 3 特別支援学級在籍児童生徒の人数を交流学級の在籍数としてもカウントすること。 4 鹿児島県で実施されている「かごしまっ子」すくすくプランなど国の基準を下回る「学級編成基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。	不採択
第2号	義務教育費国庫負担制度負担率の堅持をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について 1 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。	みなし採択
第3号	「川内原発20年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究と会議での議論および住民への情報提供を求める件 1 貴議会で、川内原発の「20年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究を早急に開始し、議会での議論および市民への情報提供に取り組むこと。	継続審査

お詫び

第63号5ページ上段4行目に誤りがありました。
誤 担任の古川先生 正 担任の古市先生 お詫びして訂正いたします。

議会だより（第63号）についてご質問をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、今後とも分かりやすい議会だよりになるように努めてまいります。